

さまざまな困難に立ち向かう、 世はまさに激動の時代。



新春ほつとコラム

秋田市長 佐竹 敬久

強く思いました。

今年は「中興」の気概で

子^ね年は十二支のトップバッターです。まさに激動の時代、さまざまな困難な課題に向かって、心新たにスタートしなければならぬ節目の年ではないでしょうか。

私はこの年頭に当たっての気概を「中興」という言葉で表現してみました。中興とは、「沈滞していたものを活性化させる、元氣のないものを元氣にする」というような意味を持ちます。

今年を中心市街地再開発の始動、

全国から四万人が秋田に集った「秋田わか杉国体」、そして障害者スポーツ大会、わか杉大会」の感動と興奮の余韻を胸に残しながら、二〇〇八年、平成二十年子^ね年を迎えました。二〇〇一年の「ワールドゲームズ秋田大会」の時にも感じたことですが、秋田県人は少し腰が重いきらいはあるものの、いざとなると「やる時はやる！」という、潔い気質を持っているようです。今回も、あれだけ多くの市民、県民の皆さんが気持ちを込めてボランティアや応援に参加してくださったことは、改めてこのたぐいまれな行動力を実証したと言えるでしょう。これからの地域づくりを考えるうえで、たいへん心



中心市街地がいよいよ動き出します。



ど真ん中の空き地でライブ！...日赤跡地で開かれた仲小路ジャズフェスティバル



「城下町ルネッサンス」で、千秋公園と中心市街地が一体となった「街なかオアシス」に (写真は平成16年撮影)

西部地域市民サービスセンターの着工、広く日本に目を向けると中央と地方の格差是正など、これまで長く準備を重ねてきたものが、いよいよ具体的な形になっていく年となります。ここで、秋田市の「中興」に結びつくであろう、市政におけるいくつかの話題をご紹介します。

にぎわいのある 新たなまちづくり

秋田市では、今、新たな「中心市街地活性化基本計画」づくりに取り組んでいます。

この基本計画は、空洞化が進む秋田駅周辺一帯を区域にしたもので、この計画が内閣総理大臣の認定を受けると、国の支援制度を活用してさまざまな事業を行うことができます。

基本計画のコンセプトは、「千秋公園(久保田城跡)と一体となった中心市街地の再生(城下町ルネッサンス)」です。千秋公園と久保田城の城下町だった中心市街地を一体的にとらえ、まちの再生に向けて取り組んでいきたいと考えています。

このほど商店街関係者などの皆さんが組織する中心市街地活性化協議会に原案を提示して意見を伺い、この後、市民の皆さんからも中心市街地活性化への取り組みに関してご意見を伺います。

また、この基本計画には、現在検討が進められている日赤・婦人会館跡地の再開発事業を盛り込んでいます。この再開発事業は、先ごろ土地の大口所有者である県と、民間側の再開発準備組合、秋田商工会議所、そして本市からなる推進協議会で整備方針がまとまったことから、にぎわいのあるまちづくりに向け、いよいよ二十年度から事業が本格化する見込みです。順調に推移すれば、二十三年度には、全体整備が完了する予定です。

これまで長年にわたり空き地だった場所が、再開発事業により、千秋公園と一体となった「街なかオアシス」として生まれ変わります。

民間事業としての全天候型の特色ある商業モールや健康スポーツ施設、居住施設、そして県の中核施設に加え、市の事業として市民の芸術文化活動施設や学生の交流施設、子育て支援施設、多目的広場などを整備することになっています。あわせて、市内どこからでもアクセスしやすいように、大型駐車場も整備する予定です。

中心市街地が再び「秋田の顔」として、市民の皆さんに愛され、にぎわいのある場所となるよう、新たなまちづくりがスタートされます。

(次ページに続く)